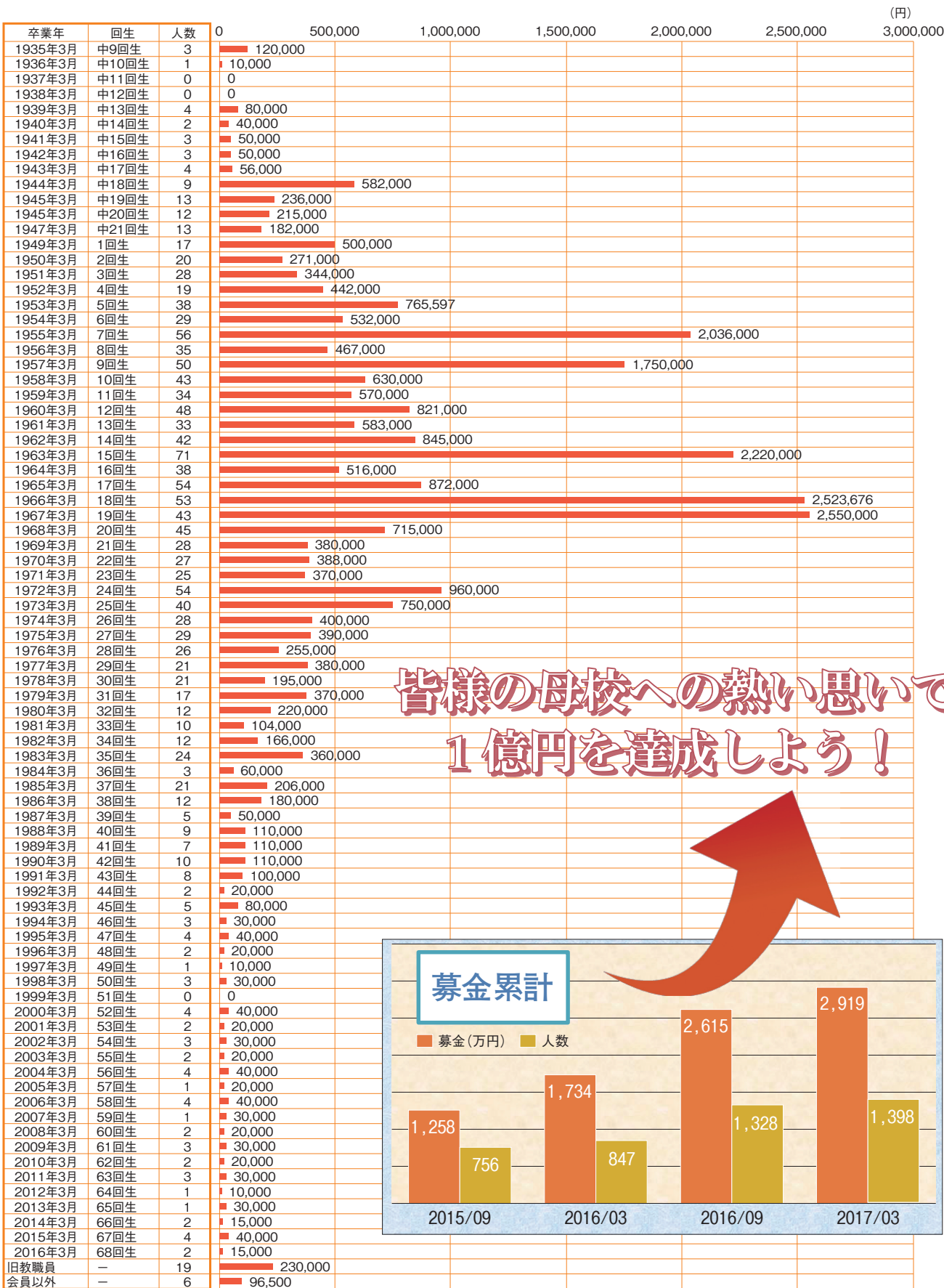






記念募金現況 総額 29,194,873 円（1,398 名） 2017 年 3 月 31 日現在



皆様の母校への熱い思いで  
1 億円を達成しよう！

朝陽奨学金創設 ～夢に向かって高校生活を充実～ 新宿高校 中川徹副校長



今年度から本校朝陽同窓会による奨学金制度、「朝陽奨学金」が創設されました。この奨学金制度は、本校が平成34年に創立100周年を迎えるにあたり、その記念事業の一環として創設され、奨学金の原資は、多くの同窓生から100周年に向けた募金によるものです。同窓生の母校新宿高校に対する気持ちに感謝するとともに、改めて御礼申し上げます。

本校に入学してくる生徒たちの家庭の経済環境も様々で、この朝陽奨学金制度が貸与でなく給付であることは、生徒・保護者も安心して高校生活に集中することができ、大変ありがたい制度です。生徒はこの奨学金制度を活用し経済的な心配をすることなく、学習や部活動、特別活動に集中し、受験勉強、そして大学進学等将来について考えながら高校生活

を送ることができます。自分の夢をあきらめずに高等学校での生活を充実させられることは、大変大きな意味があるものと考えます。

新宿高校は、「全員指導者たれ」を校是とし、「自主・自律・人間尊重」「文武両道」を目指し、古豪復活に向け教育活動を実践しております。進学実績も右肩上がり、毎年良い結果を残し、中学校や進学塾から、「入学した生徒の力を一番伸ばす都立高校」と言われるまでになりました。

同窓生の皆様、新宿高校はこれからますます発展し活躍していきます。どうぞ応援よろしく願い申し上げます。新宿高校は、創立100周年に向け、同窓会との連携を深め、教育活動を実践してまいります。今後もいろいろな形での御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、改めてこの「朝陽奨学金」制度に対し御礼申し上げます。

臨海教室をいつまでも ～安全と安心を求めて～ 館山寮管理人 下島正幹さん（23回）



昨年の8月に同窓会会員の希望者22名で「館山寮見学ツアー」を組み、100周年募金の一部を利用して改修したばかりの館山寮（旧塩見寮）に行った。その日はうだるような猛暑日でバスから降りたら見学者は食堂にまっしぐらに駆け込んだ。前年までそこにはなかった冷房がしっかりあるからだ。「この暑さは尋常ではなく、臨海教室の維持、運営面で生徒やスタッフの大きな負担になっていた」と語る朝陽水泳会会員で管理人の下島正幹さん(23回)にお話を伺った。

館山寮へは社会人になってからも須田一先生と共に行く機会が多くあった。結婚後もあることをきっかけに寮の近くにお住いの浦岡先輩（中1回）に家族ぐるみでお世話になるなど、途切れることなく毎年行く機会があった。その度に臨海教室の遠泳指導などを通し生徒たちに接し、また館山寮の運営にも関りを持つようになった。

臨海教室は毎年延べ50名程の大学や社会人の若手OB OGの惜しみない協力が支えとなっている。留学で明日ドイツに向かうという前日まで指導に当たったり、指導の合間を縫って期末試験に臨むなど大学生OB OGの熱意は絶大だ。準備や片付けといった真夏の重労働に耐え、生徒の安全を第一に水泳

指導にあたる水泳部OB OGの皆さんに脱帽する。誰でも思い出すのが沖ノ島までの約2 Kmの遠泳。気温、海温、海流、雷、竜巻、地震など気象状況も昔から大きく変化してきている。事故の無いようにと一番に神経を使うところである。そこに潜む危険を回避するのは積み重ねてきた経験であり、マニュアル化して後進へ着実に残している。

4名の調理スタッフも大変だ。真夏に安心して食事をしてもらう為に衛生面に神経を注ぐ。昨年、厨房の大改修を行った。最新の厨房設備を導入し、空調も完備した。眉間に皺状態だったスタッフに笑顔が戻り、生徒が楽しみにしているカレーライスをより一層美味しく振舞うことが出来る様になった。同窓会会員の皆様の募金や支援に感謝。

生徒達の熱中症対策にまだまだ支援が必要。全室エアコン導入、待ち時間に酷暑から守る浜の日よけ、等々数知れず。「生徒達を守って、はじめて語れる伝統」と下島さんは語る。臨海教室の様々なご苦労や課題は尽きません。100周年を次の100年に引き継ぐべく、新宿生全員が思い出としている臨海教室の伝統を絶やさず繋ぐのは正に今の我々世代の責任ではないでしょうか。



食堂は照明をLED化し、エアコンを新規導入



厨房は天井を高く改築し、洗食機などを新規導入

業間体操を後世に！ ～新宿高校体操DVD化～ 発起人・旧体育科職員 鈴木裕太さん（25回）



新宿高校創立50周年記念誌に昭和28年の出来事として、業間体操の始まりが記されている。『結核患者の多い本校生徒の体力増進のために、10月5日から実施された。この体操は体育科で考案され、「新宿高等学校体操」と名付けられたもので…業間体操は、2時間目と3時間目の間にある30分間の朝礼の時間に行われ、…』とある。これより今日に至るまで、この「業間体操」は新宿生に長く受継がれ体力増進を超えてイベントに欠かせない「レガシー」と化しました。

私も多くの方と同様に、在学中は模範演技に合わせて身体を動かすだけで体操自体を覚えてはいませんでした。が、新宿高校に赴任が決まると指導する立場になり、須田一先生や戸田洋一先生の演技を必死になって学びました。当時はビデオに残した映像も無く、年に数回の体操が学ぶ機会でした。そのような訳で、私が新宿高校を去る平成11年を前に、この体操をビデオに収めて体育科に置いてきました。そのビデオを平成28年まで生徒指導に使い続けていると聞き、驚きと同時に光栄で胸一杯になりました。さらに「新宿高校体操」と検索すると、YouTubeで40代の私のこの演技が見られる事が出

来て、2度ビックリ。

今回の制作は、『新宿高校創立100周年記念事業の目的にある「伝統の継承」の一環として、業間体操を後世に正しく伝え継ぐためにDVDに収録したい』との同窓会からの依頼でした。私自身も老体に鞭打って演技しましたが、今後は私に代わって後世へ体操の指導伝達を担って欲しく、若い高校生にモデルになる様に声を掛けました。平成28年度の体育祭で皆を指導していた70回生の体育委員5名がそれを引き受けてくれました。昨年6月から数回の練習をし、生徒が弾くピアノの音録りでは指導文言の入ったパターンも収録し、演技と併せて収録を終えたのは今年の1月6日と半年以上をかけました。一生懸命に練習してきた彼等は、収録時には少しのミスも許さずに根気よく挑戦してくれました。完成に至るまでは、加藤隆校長先生の御理解を始め体育科：清水正廣先生と音楽科：小峰和則先生の多大なる御協力を頂きました。感謝申し上げます。この「新宿高校体操（業間体操）」が末永く新宿高校生に伝承され、愛される事を願っております。



この受領証は、郵便局で機械処理をした場合は郵便振替の払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。

ご 注 意

この払込書は、機械で処理しますので、口座番号及び金額を記入する際は、枠内に丁寧に記入してください。

また、下部の欄（表面及び裏面）を汚したり、本票を折り曲げたりしないでください。